



mさんの作品
『無題』



nico太さんの作品
『変わりゆく故郷の姿』



たーちゃんさんの作品
『最高の陽気』



Snoopさんの作品
『一日の始まり』



ふみろうさんの作品
『うちへ帰ろう』



Alanさんの作品
『Sunset at Tokyo Bay』



きえさんの作品
『青空と日の出水門』



金光理玖さんの作品
『山茶花とモノレール』



まめこさんの作品
『芝浦運河の桜』

次回の締切は
4月30日(水)
必着です。

応募方法

次号は7月上旬発行予定です。発行の季節に合う作品にタイトルを添えて、住所・氏名・電話番号・作品の返却希望の有無・ペンネーム（希望者）を明記の上、べいあつ編集部までお送りください。写真はデータでもプリントでもOK。携帯写真でも大歓迎です。人物が写っているときは、その人の許諾を取った後にご応募ください。

作品の 送付先

〒105-8516 ※郵便番号だけで届きます
港区芝浦港南地区総合支所 べいあつ編集部
TEL：03-6400-0031
FAX：03-5445-4590
E-Mail：sk-kuminokoe@city.minato.tokyo.jp



※応募いただいた作品については港区の事業で無償で使用させていただくことがあります。

お詫びと訂正

べいあつ70号6ページに誤りがありました。（誤：芝浦港南地区総合支社、正：芝浦港南地区総合支所）お詫びして訂正いたします。

べいあつ編集部では全員がボランティアで参加する区民編集委員と芝浦港南地区総合支所のスタッフが協働して、企画・編集しています。より良い誌面を作るため、地域の皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております（送り先は下記へ）。

港区芝浦港南地区総合支所 べいあつ編集部
〒105-8516 港区芝浦 1-16-1
TEL：03-6400-0031 FAX：03-5445-4590
E-Mail：sk-kuminokoe@city.minato.tokyo.jp

※この情報誌にお寄せいただいた住所・氏名・電話番号等の個人情報、作品の返送および事務連絡に利用します。また、取扱いについては個人情報の保護に関する法律に基づき、適正に管理します。

編集 後記

見慣れた街も少しずつ変化をしているなあと感じる事が多くあります。そんな情報を伝えられるよう編集委員一同の想いを込めてお届けする『べいあつ71号』を手にしていただき、ありがとうございます。読者ギャラリーにお送りいただく素敵な写真もだんだん増えて、水辺近くに感じるこの芝浦港南エリアの魅力を感じていただけるのではないのでしょうか。

春の気配を感じられるようになりました。地域イベントに参加するのもよし、いつもと違う道を歩いてみるのもよし、景色をのんびり眺めるのもよし、深呼吸して、住む街を見渡してみませんか。

これからも読者の皆様の日常に少しでも寄り添える地域情報誌を目指していきます。

大橋 直

べいあつ編集部

大橋 直 岡田 美紀子 金子 源 小林 紀雄
近藤 穂佳 斎藤 正信 佐藤 啓 志水 俊子
須古 邦子 浜田 拓郎 林 淳一 廣田 幸子
堀部 菜優 三宅 子夏 山口 ゆかり 横山 仁
MESLER JONATHAN 甲斐田磨美



本誌のバックナンバーは
港区ホームページで閲覧
することができます。



暮らしの疑問、まとめて
「みなとコール」で
お答えします。

午前8時～午後8時
FAX：03-5777-8752

港区コールセンター
みなとコール
ゴヨウ(は)ナーニ ミナト(コールです)
03-5472-3710

本誌は環境に配慮して「のり」としています。

発行番号 2024031-2435

べいあつ

第71号

令和7年(2025年)3月

人と人、町と町をつなぐ ーふれあい情報誌ー



【連載】みなとパーク芝浦探訪【第3回】港区立介護予防総合センターラクっちゃ...	2
【連載】芝浦港南地区の公園シリーズ 第11回	3
【連載】編集部員がおすすめ 地域のスポット	4
夏みかん収穫&マーマレード作り・海苔作りレポート	5
SKDsレポート	6
港南XRイベント	8
区立新浜公園・芝浦一丁目計画	9
総合支所だより・都税のお知らせ	10
イベントカレンダー・ベイエリア・パワーアッププロジェクトメンバー募集・読者ギャラリー	11
読者ギャラリー・編集後記	12

みなとパーク芝浦 【フロアガイド】

8F	港区スポーツセンター
7F	
6F	
5F	
4F	
3F	消費者センター 介護予防総合センター ラクっちゃ 男女平等参画センター リーブラ
2F	
1F	芝浦港南地区総合支所 芝浦保育園分園 港区在宅療養相談センター リーブラホール・和室
B1	駐車場

今回は、港区立介護予防総合センター「ラクっちゃ」にお邪魔しました。「ラクっちゃ」は、JR田町駅から歩行者デッキで直結のみなとパーク芝浦の2階というアクセス抜群の場所にありました。平成26（2014）年12月の運営開始から約10年が経ちますが、現在では個人利用登録者約4,000人を数え、自主活動グループも40を超える人気の施設となっています。

健康寿命をもっともっと延ばしたい、これが「ラクっちゃ」の願いです
“港区立介護予防総合センター”、言葉で書くと何やら難しい感じがしますが、そんなことはありません。「ラクっちゃ」



港区在住65歳以上の方は個人登録をすると、マシントレーニングルームを無料で利用できます



健康トレーニングを行います



栄養・口腔機能改善室です。本格的なキッチンが備わっており、料理教室などを実施しています



介護予防に関わる活動を行う団体は、団体登録すると自主活動室を予約して無料で利用する事ができます（登録要件あり）

今回の取材を通して

今回、ご案内いただいたご担当の方には、何から聞けばいいのかおどする私たちに、ずっと優しく笑顔でご対応いただきました。そして地域の皆様にいつまでも健康でいて欲しいという願いや情熱が感じられました。今の健康をもっともっと維持したいという方は、初めてでも、何も判らなくても、60歳以上の方が参加できるイベントもありますので、「ラクっちゃ」の窓口を尋ねてみてください。あなたにあったいろいろなプログラムを、優しく笑顔でご紹介いただけると幸いです。



TEL：03-3456-4157

開館時間：9:00～21:30
（日曜：9:00～17:00）

休館日：年末年始
（12月29日～1月3日）

ラクっちゃの入口はみなとパーク芝浦2階にあります

個別で継続的な健康のサポート

運動系ではマシントレーニングやトレーニングルームでの体操など、文化系では外国語や料理教室、さらにはスマートフォン操作の習得など、楽しいプログラムが各種用意されており、健康寿命の延伸をサポートしています。また、専門職の方による個別相談もでき、例えば腰痛に関する相談などにもものってもらえるとのことです。

機関紙「ラクっちゃ通信」の発行

年に4回「ラクっちゃ通信」を発行しており、これをみればもっともっと「ラクっちゃ」を知る事ができます。これも「ラクっちゃ」受付で配布しています。

遊具や遊び場、施設など、個性あふれる
連載

芝浦港南地区の公園シリーズ

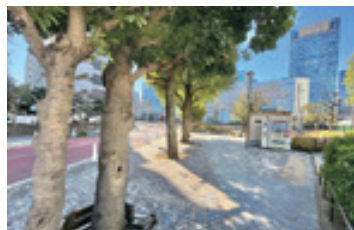
〔第11回〕区立 港南公園

「芝浦港南地区公園シリーズ」第11回目は港南公園です。

港南公園は、港南4丁目の高浜運河沿いにある4つの公園の総称です。花木も多く、子どもから大人まで、近隣のみなさんに親しまれている場所です。



高浜運河沿緑地から見えるB面の桜



A面 御橋橋のすぐそばです



B面 遊具がゆったりと配置されています



C面 小さな丘は眺めのよい特等席



D面 広さ十分の多目的広場

港南公園は、高浜運河の東岸となる東京海洋大学側の御橋橋から楽水橋までの約500メートルの間に点在する4つの公園のことです。各々の存在は知っていても同じ公園ということはあまり知られていないようなので、今回ご紹介します。

それぞれ4つの公園には特徴があります。品川駅に一番近いA面は、運河への玄関口のようなたたずまい。B面は、ブランコや滑り台のある子どもたちの遊び場でもあり、夏の早朝はラジオ体操で集う方々もいて、地元住民に親しまれている場所です。C面は草木で覆われ、ちょっとしたオアシス空間。運河沿緑地での散歩やジョギングの一休みにおすすめです。多目的広場のD面は4つの中で一番広く、どなたでも自由に利用できるグラウンドで、子どもたちや親子連れが、思い思いの運動を楽しんでいます。

これらA～D面に共通しているのは、高浜運河の対岸まで見通しがよいので空が高く感じられ、実際の広さ以上に開放感があることです。公園から運河を眺めると、水鳥や運河を通る小船が目に入り、水辺の風景が開放感を増します。公園内には四季折々の花や緑豊かな草木もあり、4面をつなぐ高浜運河沿緑地の花木と一体となり、季節の移り変わりを楽しませてくれます。

お天気がよい日に、港南公園に立ち寄り一休みしつつ高浜運河沿いをのんびり歩くのは気持ちがいいものです。機会があればぜひお立ち寄りください！ 天王洲アイルや旧東海道とあわせて散策もおすすめです。



春はなんといっても桜

高浜運河沿緑地には色々な種類の桜の木が植えられており、港南公園の桜と相まって春には一帯がピンク色になります♪ 近隣住民の方たちの欠かせない春のイベント「港南ふれあい桜祭り」が開催される日は、毎年大賑わいです。



港南公園の周辺には高浜運河沿緑地の桜の木がいっぱい

「港南ふれあい桜祭り」の詳細は、P10「総合支所だより」をご覧ください。

KOMOREBI cafe(こもればカフェ)

読者の皆さん、みなとパーク 芝浦近くの森永製菓新本社、森永芝浦ビルにある「KOMOREBI cafe」をご存じですか？ こちらは令和6(2024)年3月に森永製菓のオフィス移転に伴い本社ビルの1階にオープンした「様々な利用者がコミュニケーションをとれる」をコンセプトとしたオープンカフェです。森永製菓の社員・来訪されたお客様・テナントとして入居されている関係者・近隣にお住まいの方など、利用者は多岐にわたります。カフェにはゆったり座れるソファ席もあり、様々な方が利用できるオープンコミュニケーションエリアとなっています。自家焙煎コーヒー・軽食等のほかに期間限定メニュー、森永製菓とのコラボメニューなどなど、メニューはバラエティ豊か!!

「森永芝浦ビル」は、環境に配慮した設計で、1階のエントランスホールは、災害発生時で交通機関がストップした際などに地域企業就業者・住民を含む帰宅困難者の一次受入可能スペースにもなっています。また、地域交流として子ども達や大人の方々に向けて、KOMOREBI cafeのスペース等を活用したイベントも実施しており、地域住民にとっては嬉しい・楽しい・そして有難いエリアです。

我々取材班もインタビューを終えた後に利用させていただきましたが、ゆっくり・ゆったり過ごせて話がはずんでしまい、閉店時間に気付かないほど……。スタッフの方、すみませんでした!!

まだ訪れたことがない方は是非一度足を運んでみてください。きっと「ゆっくり・ゆったりとした時間を過ごせて落ち着くね」と感じていただけるはずです。

Dear readers, have you heard of KOMOREBI Cafe located in the Morinaga Shibaura Building, the new headquarters of Morinaga Seika near Minato Park Shibaura? This open-air Cafe opened in March 2024 (6th year of the Reiwa period) on the first floor of the head office building following Morinaga's office relocation, based on the concept of "communication across various users". Users span from Morinaga's employees, visitors,

tenants, and residents of the neighborhood. The cafeteria has comfortable sofa seating with an open communication area for a variety of people. The menu is rich in choices, including home-roasted coffee, light meals, limited-time-only selections, collaborative menus with Morinaga Seika, and more!

The Morinaga Shibaura Building is designed with the environment in mind and, in the event of a disaster resulting in suspension of transportation services, the entrance hall on the first floor serves as a primary reception area for people who have difficulty returning home, including employees of local companies and residents. KOMOREBI Cafe is also used to hold events for children and adults to support interaction within the local community, making it a pleasant, fun, and rewarding area for local residents!

Our editorial staff had a chance to try the cafeteria after our interview and we spent so much time relaxing and talking that we forgot it was closing time. Apologies to the staff!

Especially for those who have never been to this place before, please come and visit. You'll be sure to find it a relaxing and leisurely place to spend your time!



芝浦港南地区総合支所のお隣りにある本社の1階にあります。どなたでも利用できます
営業時間：8:30～16:30

Located on the first floor of the head office next to the Shibaura-konan Regional City Office. Everyone is welcome.
Hours of operation : 8:30-16:30



カフェではコーヒーなどのドリンクのほかにスイーツも楽しむことができます

Enjoy coffee, drinks, and sweets at the cafeteria.



ゆったりとしたスペースで、思わず時間を忘れてしまうほど。Wi-Fiも利用できます

Lose track of time in this easygoing space. Wi-Fi available.



森永製菓のお菓子を買うこともできます。珍しい商品もあって、人気です

Buy sweets from Morinaga Seika. Very popular exclusive items included!



EVENT REPORT

べいあつ取材班が行く！ 地域のイベントレポート

おいしい！ たのしい！
夏みかん収穫&マーマレードづくり体験

皆さん、芝浦・海岸地域に「夏みかん」が自生しているのをご存じですか？実は、重箱堀の近く(芝浦1-5)に、まんまるいオレンジ色の美味しそうな夏みかんが、毎年たくさん実っています。シーバンス管理センターで大切に育てていただいているこの夏みかんを頂いて、芝浦海岸町会商店会連絡協議会と芝浦港南地区総合支所が連携し、夏みかんの収穫と、収穫した夏みかんを使ったマーマレード作りを実施しています。

令和7(2025)年1月22日(水)に収穫体験、1月28日(火)にマーマレード作り体験を実施しました。

収穫体験の日はお天気にも恵まれ、参加者の皆さまは、たわわに実った夏みかんを夢中になって収穫されていました。青空の下、童心にかえて自然との触れ合いを楽しんでいただくことができたようです。

マーマレード作り体験では、初めは慣れない調理方法に戸惑う方もいらっしゃいましたが、参加者の皆さまどうし協力しながら、和気あいあいと作業を進めていただきました。最後には、甘酸っぱくてとっても美味しいマーマレードが完成し、皆さま達成感のにじむ笑顔で試食されていました。



太陽をいっぱい浴びて、大きく育った芝浦の夏みかん



高い所にあるみかんも、皆さん夢中で収穫していました



採れた夏みかんは鍋で砂糖と一緒に煮詰めていきます



地元ならではの夏みかんマーマレードのでき上がりです

今年も立派な海苔が育ちました！
お台場海苔づくり

「お台場海苔づくり」は、港区立小中一貫教育校 お台場学園(以下、「お台場学園」とする。)5年生の環境学習の一環として、都立お台場海浜公園の海で実施している本格的な海苔づくり事業です。地域住民等で構成される「Teamお台場海苔づくり」の協力のもと毎年取り組んでおり、なんと、今回で20シーズン目を迎えました。

今年度は令和6(2024)年12月から令和7(2025)年2月にかけて、竹ひび(支柱)の設置から海苔の摘み取り、干し作業までの工程を行い、摘み取りや干し作業を体験したお台場学園5年生は楽しそうに取り組んでいました。

最後に、でき上がった海苔を佃煮やみそ汁に調理して、試食会を行いました。愛情込めて一から育てた海苔を食べた児童たちは、自分たちの住むお台場の海への愛着を、より深めることができたことと思います。



お台場の海に入って「ひび立て」の作業中



自分たちの手で育てた海苔を、みんなで摘み取ります



初めての「海苔すき」を興味津々で見守ります



「板海苔」を干します。美味しくできるかな？

大人向けのSKDs | 未来の担い手育成 プロジェクト講座 [レポート]

若年層を対象に、地域活動や地域コミュニティに関する意識を高め、地域の魅力等を学ぶのが「SKDs未来の担い手育成プロジェクト」です。令和6年度は落語体験と南極講座を行いました。参加者によるレポートをお届けします！

※SKDs：S「芝浦」、K「海岸二・三丁目、港南」、D「台場」、s「Sustainable（持続可能な）」を意味しています。

落語

令和6（2024）年3月に女性真打ちに昇進した林家つる子師匠。男性目線で描かれる落語。芝浦を舞台にした「芝浜」も同様ですが、女性が演じるとどうなるのか。迫力の高座はとても貴重な体験になりました

区立伝統文化交流館の2階で行われました

REPORT① | SHさん

先日の落語会について。女性の落語家は、日本には70人いるということです。とても力強い落語でした。参加者も、意欲的な方ばかりです。このような地域の特徴を生かした企画はこのイベントならではのと思います。若い方にたくさんきてもらって、この力を生かしたいですね！

REPORT② | IJさん

もはや人情噺じゃない、女性の心の機微と葛藤を描いた映画でした！ 長屋の垣根越しに初めての出会い。じわじわ距離を縮め、喜びに満ちた祝言。お財布から始まった、苦しみと迷い。好きだから許したくない、秘密を抱えて揺れるおみつ。苦悶。長屋の障子や畳、小さな釜戸や神棚までもが鮮明に浮かび、江戸を生き生きと暮らす二人がそこに、目の前に居ました。幾度も聞いた芝浜ですが、名もなき女房が「おみつ」として新たな生



を受けた瞬間に立ち会えたような感動で震えました！

REPORT③ | SAさん

皆さんは落語鑑賞の経験はあるだろうか。お正月にTVで見かける位という方も多いだろうが私もその一人。去年、同会で初めての落語「芝浜」を鑑賞したのだが、今回も同じ演目で飽きないだろうかと失礼ながら風の心理で臨んだ。全く別物であった。前回は魚屋主人が主役だったが今回はその妻と大家さんの間で進行する女性視点の大胆な解釈。ベテラン師匠の賛否両論もあったそうだが、なぜ同じ演目が長い間楽しまれたのかを知るには十分であった。皆さんもお試しあれ。

REPORT④ | NNさん

それは、初体験の「芝浜」だった。芝浜を聴くのは4回目。同じ演目でも噺家さんにより印象が変わるのだが、今回「ほっこりする人情噺」とは別物。役名すら無い「女房」主人公目線の噺は、気性激しめでグイグイきてその迫力や流す涙に圧倒される。立場が違えば視点も変わり、各主役によって同じ事象でも違うストー



リーが夫々の人生で起きて重なっているのが私達の日常。美しくも雄々しい抜擢真打つる子師匠が挑んでいるのは伝統芸能の世界だけでなく私達の既成概念までもも問いを投げかけているのかも。

REPORT⑤ | TKさん

今回の落語「芝浜」は、主人公の奥さん「おみつ」の視点から描かれていた。落語はやはりまだまだ男の世界。女性の噺家は1割もない。落語も主人公が男性や男性目線から書かれているものばかり。そんなこともあり、つる子師匠独自の女性目線の「芝浜」が誕生した。落語を聞いて、感動して泣いてしまったのは人生で初めてだった。つる子師匠の落語は一人の舞台女優ながら、汗と涙の渾身の演技力があり、また聞きたいと思わせる。

南極講座（南極くらぶ）

地元芝浦にあるNECネットズエスアイ。情報通信ネットワークなどを手掛ける会社で、1987年から南極の昭和基地にシステム管理のために社員を派遣しています。実際に約1年、南極の昭和基地で過ごした方に南極の生活についてうかがいました



南極での生活や仕事などを実際の写真を交えて紹介していただきました

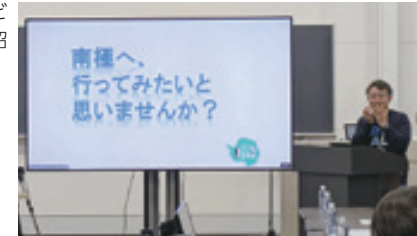
実際に現地で撮った写真を使って解説していただいた田仲宏至さん（第54次日本南極地域観測隊）

REPORT① | YKさん

南極観測隊のイメージは、酷寒の南極で過酷な作業に従事するというものだったが、それはすぐに覆った。勿論過酷な環境ではあるが、その中で楽しみが以外にも多いのである。季節の行事・お祭り・かまくら作り……。南極の地でも季節を感じ、日本の行事を大切に行うことは、一人一人が重要目つ責任重大な任務を行う隊員たちにとって、モチベーションを保ち、任務に立ち向かうエネルギーになっていたと思う。隊員たちの笑顔が印象的で、南極が少しだけ身近に感じられた。

REPORT② | ITさん

興味深く面白い話を沢山聞くことが出来たが一番印象に残ったのが説明してくれた田仲さんの纏う人間性が漏れてくる雰囲気だ。狭い観測施設に30名で越冬する上で仲間に対して敏感力。自分に対して鈍感力が必要と説明されていた。そのどちらも持ち合わせると人間性も高まるのだろう。多くの問題が取り沙汰され



る現在、皆で南極へ行くとかかなりの事が解決されるのではないかなと思わせてくれるひとときでした。隊員募集サイト見なくては！

REPORT③ | TNさん

越冬隊員が挑む約1年のミッション。長く聞かれますが、過酷な自然の前では、個人の力で成し遂げられるものは限られるというリアルがあります。「世界は誰かの仕事でできている」という言葉に象徴されるように、仲間と助け合い、歴代の隊の成果に感謝しながら自らの役割を果たし、バトンを繋いでいく姿勢に感動しました。極限環境での努力と知恵の積み重ねが「地球の未来を読み解く」という壮大な使命を支え、地球環境保全、サイエンスの発展に貢献しています。

REPORT④ | TTさん

「むしゃむしゃ」サラダを食べる、「ふう〜」お風呂に入る、たまには露天風呂で「クイッ」と一杯、グラスの中から「ブツブツ」

実際に南極で使用された防寒服も会場で見ることができました



本物の南極の氷からは数十万年から数百万年も前の空気が弾ける音が聞こえました



とくゆる音。普通のように感じるけど特別なのは、ここが南極ってこと。30人のコミュニティは「世界はだれかの仕事でできている」を実感する日々。家族と離れて観測を続ける隊員の方々は多目的データ受信の運用・保守点検等を過酷な寒さの中で遂行。「ありがとうございます」。感謝でしかない。

REPORT⑤ | TKさん

田仲さんの業務は設備の保守点検、特に発電棟は命綱で、責任は重大。担当任務のプロフェッショナルは自分だけであり、自分で考え決断し実行する経験をしたことで実感できたのは、自分の仕事は誰かのために役立っている、喜んでくれる人がいること。世界は誰かの仕事でできている、誰かの仕事で自分の生活は成り立っているということ。社内で隊員の公募にチャレンジした理由として、想像もつかない未知の世界への興味が、あらたな世界にトライしたかったから。小中学校での出前授業も対応可能で、子どもにも有益な内容だと思いました。

港区からのお知らせ

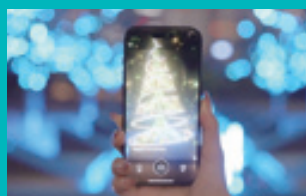
“街づくり×デジタル”で 品川港南エリアをさらに魅力的に！

『品川港南2050プロジェクト（事務局：NTTアーバンソリューションズ株式会社）』のイベントをご紹介します。このプロジェクトは、品川港南エリアの周辺企業と住民とが連携しながら、品川港南エリアの魅力をより高めていくことを目指す取り組みです。今回は、今後予定されているイベントや、過去に実施したイベントについてご紹介します。

今後開催予定！『KŌNAN XR Touch the City』



2025年3月、多様なアーティストやクリエイターのXRコンテンツが街中で楽しめる、KŌNAN XR Touch the Cityのイベントを実施します。参加者は、指定のアプリをダウンロードすることで港南の街の各スポットを巡りながら、クリエイターにより演出されたXR体験をお楽しみいただけます。



アプリ
ダウンロードは
こちら

実施時期（予定）：2025年3月7日（金）～22日（土）
場所：品川駅港南口エリア
参加費：無料

～過去のイベント～

『品川イルミネーション2023 with XR City』



実施時期：2023年12月1日（金）～25日（月）

『東京湾アート&ミュージアムクルーズ』



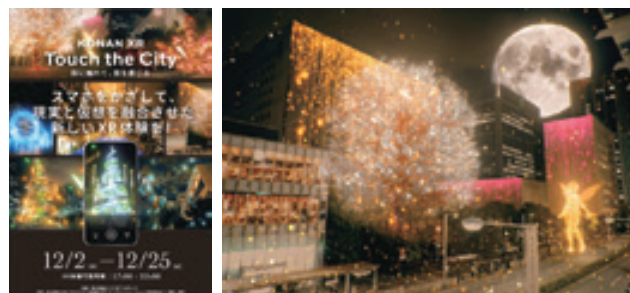
実施時期：2024年10月12日（土）～11月24日（日）の土日祝日

『品川テクノロジーテラス』



実施時期：2024年3月8日（金）・9日（土）

『KŌNAN XR Touch the City ～街に触れて街を感じる～』



実施時期：2024年12月2日（月）～25日（水）

2025年3月中
にも
開催予定です！

▼昨年度の
開催模様は
こちらから



区立新浜公園が新しくなります 今までの雰囲気を残しながら、ユニークな遊具も登場



40年近く芝浦にある
モヤイ像



人工芝の広場と
ネット遊具



ユニークな
かたちの遊具



運河沿いの風
が気持ち良い
ウッドデッキ

芝浦一丁目の再開発に伴い、新浜公園の再整備が進んでいます。

人工芝の広場の中に、大きなネット遊具があり、音が出て光る遊具など、真新しい遊具も設置されています。東屋があるウッドデッキでは休憩ができ、公園中央の展望デッキからは古川を望むことができます。また、四季を感じられるよう、多様な植物が植えられ、ウミネコザクラという珍しい品種の樹木もあります。

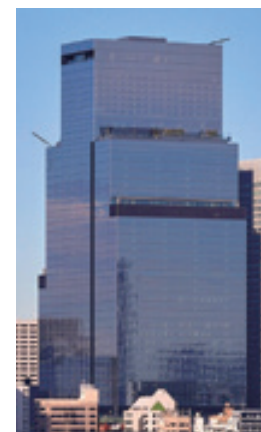
昭和59年の開園時から40年近く芝浦の街を見守ってきたモヤイ像も現地に残っています。



新しい町が生まれます！～芝浦一丁目計画～

芝浦一丁目の「BLUE FRONT SHIBAURA」の第一期工事である「TOWER S」が令和7（2025）年3月5日に竣工しました。「TOWER S」にはオフィス・ホテル・商業施設が入ります。また開発の一環として浜松町駅南口へ至る歩行者専用道は緑のアプローチとして整備されています。「TOWER N」を含めた全体完成は2030年度を予定しており、オフィス・商業施設・住宅が整備される予定です。

令和7（2025）年3月



竣工したTOWER S



浜松町駅に続く緑のアプローチ

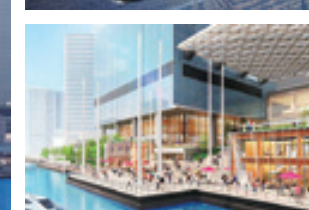


外構工事の様子（2月下旬）

令和12（2030）年3月



BLUE FRONT SHIBAURAの完成予想図



親水空間整備

第11回 港南ふれあい桜祭り

桜の季節、港南地域をあげて「第11回 港南ふれあい桜祭り」を開催します。
多くの皆さんのお出掛けをお待ちしています。

- 開催日時 令和7（2025）年3月30日（日） 11:00～16:00 ※雨天決行
- 場所 高浜運河沿緑地ほか（御橋橋から築水橋までの一帯）
- 催し 「地域有志によるステージイベント」「模擬店」「物販店」「防災コーナー」「フリーマーケット」「運河めぐり」ほか
- 主催 ワールドシティタワーズ自治会・パークホームズ品川自治会
- ▶問合せ 港南地域連合会 TEL：070-5561-8090



フリーマーケット参加者募集

- 締切り 3月21日（金）
- 申込方法 右記の二次元コードから申込みフォームにアクセスしてください。
※今年はゆとりーむでの事前受付は行いません。
- 出店料 1ブース500円

都税のお知らせ

自動車の 移転手続・廃車手続は お済みですか？

自動車税種別割は、毎年4月1日現在、自動車検査証（車検証）に登録されている所有者（割賦販売の場合は使用者）の方に課税されます。自動車を譲渡したときは移転登録、廃車したときは抹消登録の手続が必要です。**令和7年3月末日**までに管轄の運輸支局又は自動車検査登録事務所です手続をお済ませください。

- ▶問合せ 東京都自動車税コールセンター
TEL：03-3525-4066

引越しをしたときは、 自動車の変更登録の手続が 必要です

引越しをしたときは、管轄の運輸支局又は自動車検査登録事務所です自動車の変更登録の手続が必要です。手続が遅れますと、自動車税種別割の納税通知書が届かないなどのトラブルの原因となります。

やむを得ず手続が遅れる場合は、電子申請や電話等により、納税通知書の新しい送付先住所をお知らせください。

- ▶問合せ 東京都自動車税コールセンター
TEL：03-3525-4066

4月から固定資産税における 土地・家屋の価格などがご覧になれます (23区内)

対象：令和7年1月1日現在、23区内に土地・家屋を所有する納税者
内容：所有資産が所在する区で課税されている土地・家屋の価格など（縦覧帳簿）
期間：令和7年4月1日（火）から令和7年6月30日（月）まで（土・日・休日を除く）
時間：8時30分から17時まで
場所：土地・家屋が所在する区にある都税事務所

納税通知書は令和7年6月2日（月）に発送予定です。
詳細は、東京都主税局ホームページをご覧ください。

- ▶問合せ 港区にある物件について 港都税事務所
TEL：03-5549-3800（代表）

耐震化のための建替え又は改修を行った住宅 (一定の要件を満たすもの) に対する 固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

減免の期間と額は、以下のとおり
建替え：新築後新たに課税される年度から3年度分について全額減免（居住部分に限る。）。ただし、減免の対象となる戸数は、建替え前の家屋により異なる。
改修：改修工事完了日の翌年度分から一定期間、居住部分で1戸あたり120㎡の床面積相当分までの税額を全額減免（※耐震減額が適用される住宅については、耐震減額適用後の税額を全額減免）。

減免を受けるには申請が必要です。詳細は、東京都主税局ホームページをご覧ください。

- ▶問合せ 港区にある物件について 港都税事務所
TEL：03-5549-3800（代表）



主税局
ホームページ

乳幼児から 楽しめる イベント！



にじのはし幼稚園 TEL：03-5500-2577

にじっこキッズ(未就園児の会)

日時：毎週火曜日 10:30～12:00
※詳しくはホームページをご確認ください。
※令和6年度は3月4日まで、令和7年度は5月13日からの開催です。
場所：にじのはし幼稚園

平日は、毎日絵本貸出を行っています。詳しくは、にじのはし幼稚園ホームページをご覧ください。



港南幼稚園 TEL：03-3471-7347

未就園児の会 かもめっこデー

日時：毎週水曜日 10:30～12:00
※園行事等でお休みの日もあります。
場所：港南幼稚園 2階多目的室・園庭



園庭開放も行っています。日程等、ホームページでご確認ください。

※日時や内容が変更になることがありますので、必ず各施設の最新情報を確認してください。

港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト メンバー募集

芝浦港南地区総合支所は、地域の皆さまと共に考え、行動する組織「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト」を設置しています。令和7（2025）年度のメンバーを募集します。一緒に活動してみませんか。

- 芝浦港南地区地域事業検討分科会
- 水辺のまち歩きプロデュース分科会
- みどりつなぐプロジェクト分科会
- べいあっぷ編集部

奮って応募ください。3月17日（月）締切です。詳細は港区ホームページをご確認ください。



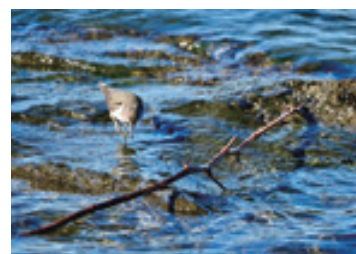
応募はこちらから

読者 ギャラリー

芝浦港南地区の人、暮らしを伝える、とっておきの作品をお送りください。
読者の皆さんで「べいあっぷ」を盛り上げてください。力作お待ちしております！

写真のほかに
俳句や川柳、
イラストでも
応募できます！

俳句・写真編



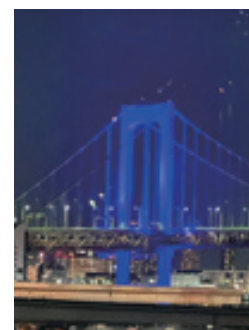
映画いそぎの世代さんの作品
『お台場のいそぎ』



ニコさんの作品
『背後から失礼』



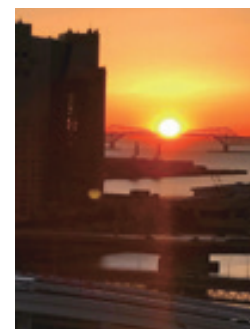
エレンさんの作品
『新日の出橋から見た海』



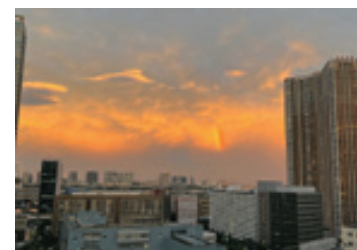
カロちゃんさんの作品
『青いレンボーブリッジ』



溝内 始さんの作品
『石路の花』



つねやんさんの作品
『ゲートブリッジと真ん中』



ミスパラソルさんの作品
『無題』



さっちゃんさんの作品
『レインボーブリッジに満月が登る』